

2019年度 教員免許状更新講習（中学校・高等学校教諭（家庭）対象）

日 程 8月6日（火）～8日（木）（予備日8月9日）

講習内容 選択領域 C 18時間（6時間×3日）

講習題目 「家庭科」学びのリニューアル	
講習概要 中学校・高等学校教員を対象とし、「家庭科」の食生活分野、衣生活分野、消費生活分野、家族と家庭生活分野に焦点を当て、最新の学術情報を提供するとともに、実習、実験、アクティブ・ラーニングの手法など、授業実践に役に立つ内容を紹介します。	
8月6日	1 授業題目 現代社会において消費者力を身につける重要性と意義 講 師 青谷 実知代（人間科学部 都市生活学科准教授） 授業概要 現代社会における事業者と消費者の情報格差等によって生じる消費者問題の現状を把握し、問題解決の方向性を探ります。消費生活センターに寄せられたケースを中心に新聞記事やビデオ教材などを使い今後、子どもの時から必要になる消費者力の身につけ方や意義について探っていきます。
	2 授業題目 金融的側面から見た生活設計 講 師 前田 直哉（人間科学部 都市生活学科准教授） 授業概要 近年、日本の景気は上向き傾向にありますが、その一方で金融資産未保有の家計が次第に増えています。このような現実を前にすると、教員側としては生徒に生活設計をどのように考えさせるか、特に生活設計の立て方をどのように示すかが家庭科教育の一つの課題になっていると言っても過言ではないでしょう。本講習では、生活設計を金融的側面から捉え、教材の紹介とその体験も交えて、生活設計をどのように教えていくかということを模索していきます。
8月7日	3 授業題目 現代社会と衣生活 講 師 花田 美和子（人間科学部 都市生活学科教授） 授業概要 2016年に洗濯表示が新しくなり、私達のクローゼットの衣服もほぼ新しい取扱い表示になった今、表示の意味はどれほど浸透しているのでしょうか。また、JISにおいて子ども服のフード・紐等の安全基準が制定されるなど、衣生活の情報は日々更新されていきます。この講座では、社会とともに変化する衣生活の話題を取り上げ、今後の衣生活教育について考えます。また、食品の廃棄物や地域資源を利用した染色実験を紹介します。
	4 授業題目 調理の楽しさと重要性 講 師 松木 宏美（人間科学部 都市生活学科講師） 授業概要 平成17年に「食育基本法」が施行され、学校教育においては食育の推進が重要視されてきました。しかしながら、日常生活の中で時間や手間をかけて調理をすることや核家族の中で食文化を伝承していくことは難しいのが現状です。食べることは、単に空腹の解消や味覚の満足だけではなく、食べ物や自然への視野の広がり、調理での発見や知識・技術の習得、さらには生きる力にもつながります。調理実習を通して、これまでの実践から紹介し、考えていきます。

8 月 8 日	5 . 6	<p>授業題目 家庭科における教材のチカラとは</p> <p>講 師 奥井 一幾（人間科学部 都市生活学科講師）</p> <p>授業概要</p> <p>家庭科は、人間の誕生から死に至るまでを範囲とした多岐にわたる学習内容を含んでおり、実習が多いなどの特徴を有しています。そのため、家庭科の授業で用いられる教材はバラエティに富み、それらをいかに授業で活用するかについて考えることは重要です。本講習では、家庭科における教材の意義や役割を確認し、パワーポイントを用いたスライド教材の例や、受講者間のディスカッションなどを通じて、よりよい教材活用のあり方を検討していきます。</p>
------------------	-------------	--